

# 第17章 福島県自然の家

## 第1節 沿革及び所在地

### 1 沿革

昭和47年県内初の県立少年自然の家として、また、東北でも3番目の宿泊研修用の先導的施設として「福島県郡山少年自然の家」を開設。

昭和50年海浜型の青少年社会教育施設として「福島県海浜青年の家」(以下「青年の家」という。)を開設。同年発足した「財団法人福島県海浜青年の家」が管理運営を行うこととなる。

昭和56年県立少年自然の家2施設目となる「福島県会津少年自然の家」を開設。

平成8年「福島県いわき海浜自然の家」を開設。これに伴い、「青年の家」の名称を「福島県相馬海浜自然の家」に改める。運営財団の名称を「財団法人福島県海浜自然の家」に変更し、海浜型2施設の管理運営を行うこととなる。

平成10年福島県教育庁の直営であった「福島県郡山少年自然の家」及び「福島県会津少年自然の家」の名称を「福島県郡山自然の家」及び「福島県会津自然の家」と改める。これにより財団の名称を「財団法人福島県自然の家」に変更し、県内4施設の管理運営を行うこととなる。

平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成20年度までの3年間「財団法人福島県自然の家」が指定管理者となり4施設の管理運営を行うこととなる。

指定管理者であった財団が平成20年度末をもって解散したため。平成21年度から4施設とも県の直営による管理運営となる。

平成22年度に開催した指定管理者選定検討会において「福島県いわき海浜自然の家」が「財団法人いわき市教育文化事業団」に指定管理することとなる。なお、他3施設については検討会の条件を満たす団体がいないため直営による運営が継続されることとなる。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、「福島県会津自然の家」は同年7月2日まで「福島県郡山自然の家」は同年8月28日まで避難所として運営を行う。また「福島県いわき海浜自然の家」の指定管理は震災の影響により平成23年11月1日からの開始となる。なお「福島県相馬海浜自然の家」は地震・津波の甚大な被害を受け平成24年3月31日をもって公所廃止となる。

### 2 所在地

#### (1) 福島県郡山自然の家

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山46

〒963-0213 TEL 024-957-2111

FAX 024-957-2112

URL <http://www.koriyama-nc.fks.ed.jp/>

#### (2) 福島県会津自然の家

福島県河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山4495-1

〒969-6504 TEL 0242-83-2480

FAX 0242-83-2481

URL <http://www.aizu-nc.fks.ed.jp/>

#### (3) 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき市久之浜町田之網字向山53

〒979-0335 TEL 0246-32-7700

FAX 0246-32-7730

URL <http://www.iwaki-nc.fks.ed.jp/>

## 第2節 教育目標及び基本的視点

### 1 教育目標

恵まれた自然環境の中で、野外学習や集団宿泊活動など様々な活動を通して主体的に対応できる人々の育成を目指す生涯学習の推進のため、次の目標を設定する。

- (1) 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や敬虔の念を育てる。
- (2) 集団宿泊活動を通して規律・協同・友愛及び奉仕の精神を養う。
- (3) 自然体験活動を通して自ら実践し、創造する態度を育てる。

### 2 基本的視点

豊かな自然体験を楽しめる施設として、その機能を十分に発揮するために、施設・設備の整備や運営方法の確立・改善に努め、利用者が充実した活動を展開できるよう、次の基本的視点に基づきそれぞれの施設の運営にあたる。

- (1) 所員の英知と創意を結集し、施設の充実・整備を図り活気と魅力ある施設の運営に努める。
- (2) 利用者の多様なニーズや利用目的に応じた柔軟な運営を行うよう努める。
- (3) 立地条件を生かした特色ある企画事業を展開するとともに、学校や地域に生きる活動種目やその指導方法の研究開発に努める。
- (4) 民間の指導者の協力や高校生・大学生等のボランティアの受け入れを得るように努める。
- (5) 現代的課題の解決に対応する事業を推進し、その情報の発信に努める。

## 第3節 各施設の利用者数

#### (1) 福島県郡山自然の家

平成21年度31,391人

平成22年度28,461人

平成23年度12,285人

#### (2) 福島県会津自然の家

平成21年度44,107人

平成22年度41,063人

平成23年度23,512人

#### (3) 福島県いわき海浜自然の家

平成21年度69,605人

平成22年度66,611人

平成23年度11,825人

平成23年度自然の家利用統計										
		平成23年度			延べ人数推移					
		団体数	利用人数	延べ人数	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
4月	郡山	0	0	0	2,102	1,606	2,176	2,664	1,576	1,514
	会津	0	0	0	2,002	2,324	2,228	2,372	2,906	2,484
	相馬	0	0	0	2,319	3,266	2,539	2,984	4,010	3,398
	いわき	0	0	0	3,322	2,615	3,188	2,543	2,472	2,976
	計	0	0	0	9,745	9,811	10,131	10,563	10,964	10,372
5月	郡山	0	0	0	1,914	2,267	2,063	1,928	2,427	1,824
	会津	0	0	0	4,264	4,745	4,498	4,574	3,944	3,001
	相馬	0	0	0	2,976	3,278	3,183	2,503	3,752	3,498
	いわき	0	0	0	6,008	7,682	7,718	9,158	7,949	6,668
	計	0	0	0	15,162	17,972	17,462	18,163	18,072	14,991
6月	郡山	0	0	0	4,976	5,324	4,907	5,230	4,602	3,947
	会津	0	0	0	5,740	5,514	5,507	5,496	6,162	4,661
	相馬	0	0	0	3,749	3,928	4,409	3,429	4,911	4,124
	いわき	0	0	0	12,556	13,160	12,479	12,156	11,387	12,284
	計	0	0	0	27,021	27,926	27,302	26,311	27,062	25,016
7月	郡山	15	338	338	5,167	5,115	5,055	5,314	4,327	4,798
	会津	13	1,008	1,197	6,183	6,793	6,096	8,056	5,850	6,381
	相馬	0	0	0	5,821	5,212	4,013	7,368	5,558	6,299
	いわき	0	0	0	14,737	13,170	13,923	13,520	12,204	11,575
	計	28	1,346	1,535	31,908	30,290	29,087	34,258	27,939	29,053
8月	郡山	25	550	1,079	3,688	4,575	4,900	4,320	3,669	3,053
	会津	40	2,160	3,436	4,962	5,568	4,638	5,094	4,752	5,204
	相馬	0	0	0	4,110	4,481	4,599	4,996	5,347	4,495
	いわき	0	0	0	9,374	7,851	9,297	8,098	6,144	5,930
	計	65	2,710	4,515	22,134	22,475	23,434	22,508	19,912	18,682
9月	郡山	37	2,244	3,591	5,652	5,008	5,380	6,822	4,732	4,442
	会津	59	3,129	5,955	6,343	5,552	5,135	5,785	4,865	4,163
	相馬	0	0	0	4,047	3,795	3,649	5,088	3,754	4,015
	いわき	0	0	0	11,260	13,404	13,913	11,703	10,839	11,560
	計	96	5,373	9,546	27,302	27,759	28,077	29,398	24,190	24,180
10月	郡山	39	1,779	2,949	6,345	4,913	4,895	6,247	4,250	4,677
	会津	70	3,130	4,664	6,322	3,895	5,098	5,166	4,133	4,577
	相馬	0	0	0	3,049	3,292	3,280	4,490	2,852	3,364
	いわき	0	0	0	10,100	9,020	9,414	9,192	8,300	9,190
	計	109	4,909	7,613	25,816	21,120	22,687	25,095	19,535	21,808
11月	郡山	32	819	1,112	1,280	1,541	966	1,680	1,180	1,199
	会津	27	1,366	1,602	3,519	1,908	1,484	1,850	1,033	996
	相馬	0	0	0	1,512	1,800	1,200	1,831	2,004	1,272
	いわき	3	509	509	2,244	3,681	3,804	2,809	3,461	2,038
	計	62	2,694	3,223	8,555	8,930	7,454	8,170	7,678	5,505
12月	郡山	29	541	786	1,479	1,242	1,041	1,446	1,216	982
	会津	12	506	604	1,258	1,042	900	898	990	746
	相馬	0	0	0	1,023	1,042	814	1,294	891	1,134
	いわき	5	176	235	1,456	1,651	1,518	1,594	2,354	1,349
	計	46	1,223	1,625	5,216	4,977	4,273	5,232	5,451	4,211
1月	郡山	26	567	796	1,090	867	886	634	620	575
	会津	37	1,790	2,503	3,594	3,021	2,995	3,419	2,861	3,583
	相馬	0	0	0	1,141	1,200	1,128	939	797	1,041
	いわき	28	879	2,717	1,246	1,192	1,484	1,553	899	1,243
	計	91	3,236	6,016	7,071	6,280	6,493	6,545	5,177	6,442
2月	郡山	25	607	731	1,449	1,439	1,776	1,715	1,261	1,360
	会津	41	1,740	2,540	3,084	3,520	3,663	2,637	4,749	4,002
	相馬	0	0	0	1,212	853	1,939	1,465	1,364	1,089
	いわき	15	470	3,790	1,383	1,590	1,815	2,176	1,816	1,310
	計	81	2,817	7,061	7,128	7,402	9,193	7,993	9,190	7,761
3月	郡山	25	678	903	1,433	1,216	1,095	1,488	1,531	90
	会津	17	555	1,011	1,838	1,230	1,397	913	1,862	1,265
	相馬	0	0	0	2,265	1,983	2,669	2,300	2,837	565
	いわき	29	1,314	4,574	2,167	2,355	3,276	1,807	1,780	488
	計	71	2,547	6,488	7,703	6,784	8,437	6,508	8,010	2,408
累計	郡山	253	8,123	12,285	36,575	35,113	35,140	39,488	31,391	28,461
	会津	316	15,384	23,512	49,109	45,112	43,639	46,260	44,107	41,063
	相馬	0	0	0	33,224	34,130	33,422	38,687	38,077	34,294
	いわき	80	3,348	11,825	75,853	77,371	81,829	76,309	69,605	66,611
	合計	649	26,855	47,622	194,761	191,726	194,030	200,744	183,180	170,429

# 福島県郡山自然の家

## 第1節 概要

郡山自然の家は、昭和47年に「福島県少年自然の家」という名称で設立され、小・中学校の宿泊体験学習の場として開所して以来39年が経過し、平成21年10月には、延べ利用者数が150万人に達した。

本施設は、郡山駅より11km、郡山南インターより車で8分という交通の便に恵まれ、しかも豊かな自然環境に囲まれている都市近郊型の自然の家であり、心身共に健全な青少年と心豊かな社会人を育成することを目的とした教育施設である。

平成20年度まで11年間、県内4つの自然の家を運営してきた財団法人福島県自然の家が解散し、平成21年度から県直営としての運営形態に変わり3年目を終了した。

利用者は、これまで主体であった小・中学生のみならず、高校生、一般社会人、家族など利用者層が多様多様になってきている。恵まれた自然環境の中で、「みどり・であい・感動」をキャッチフレーズに、野外活動や集団宿泊活動を通して、「自然に親しむ心や畏敬の念」「規律・協同・友愛・奉仕の精神」「自ら実践し、創造する態度」の育成を目指し、様々な活動を展開してきた。

さらに、本所は生涯学習の拠点として、広く県民の皆様に利用していただけるような施設を目指し、施設の改築・改修や本館の段差を解消するなど障がい者にもやさしい施設づくりを進めてきた。

また、幼稚園から高齢者までの幅広い年齢層に対応し、多くの人に活用されるよう、多種多様な企画事業を展開するとともに、特色あるプログラムの開発に努めてきた。

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」(M9.0)及びその後の東京電力福島第一原子力発電所の事故では、当所は幸い大きな被害を受けることはなかったが、3月12日より臨時休所、3月15日からは一次避難所となり、延べ10,063名、1日最大269名の被災者を受け入れた。

一次避難所としての業務は8月末日まで続いたが、その間山口県職員の派遣や多くの地元ボランティアの支援により、避難所としての業務を行うことができた。

受け入れている被災者数の減少に伴い7月12日(火)より日帰り利用の受け入れを、8月2日(火)より宿泊利用の受け入れを開始した。

また、当所の利用者からも放射線の影響を心配する声が多く寄せられた。みどりの広場及びその周辺の法面の表土入替、つどいの広場及び本館前道路のアスファルト舗装張替工事、敷地内側溝の清掃等の工事を実施し、また、所内のこまめな除草、活動コース附近の落ち葉等の清掃を実施し放射線量の低減化を図った。

## 1 職員組織

職員組織は、以下のとおりである。(8月1日現在)

職名	所長	次長	主査	主任指導主事	社会教育主事	指導主事	計
人員	1	1	1	1	2	0	6

なお、今回の災害を受けて県教育委員会では4月1日付けの人事異動を凍結し8月1日付けの異動を実施したことに伴い、当所でも教員系職員について8月1日付けの異動が行われた。

## 2 平成23年度重点目標と成果

### (1) 利用団体への支援

ア 団体が主体的に活動できるようにするために、学校利用・社会教育団体利用ともに、利用団体の指導者との連携を密にしてきた。学校利用では、夏休み以降の利用団体を対象に学校利用指導者研修会を実施し、施設の概要を説明するとともに、研修のねらいや活動計画の立案に対しての指導・援助を行った。また、事前打合せや実地踏査・下見等を奨励し、各利用団体が主体的に活動できるように支援した。

イ 社会教育団体の利用については指導者研修会を中止としたため、各団体代表者との電話連絡を密にし、各団体の利用目的に応じた活動が展開できるよう努めた。

### (2) 利用者の声を生かす

ア 利用団体の指導者及び利用者の声をアンケート等により集約・分析して、活動環境の充実やプログラムの開発、運営に生かした。

イ 利用団体の代表や保護者から、活動エリア内の線量についての問い合わせが多く寄せられた。県中教育事務所の協力を得て定期的に線量を測定し、不安の払拭に努めた。

ウ 学校利用について、夏季休業前は臨時閉所のため受け入れできず夏季休業後に利用が集中した。このため、月曜日などの休所日も開所し、多くの学校の利用希望に応えられるようにした。

### (3) 環境保護の視点に立った環境整備

ア 手入れが行き届いた施設設備を目指して、日常点検や活動開始前の点検を常に心掛けた。

イ 自然保護に配慮したコース案内板等の補修及び更新を行ってきた。また、樹木にやさしくという考えに立って、針金等による補修を行わないようにした。

ウ 館内については、季節ごとの掲示に心がけるなど変化のある計画的な掲示に努めた。

### (4) 多様なニーズに対応できるプログラムの開発

ア 利用団体の研修のねらいも年々多様になってきており、

団体のニーズに応じて弾力的に対応できるように努めた。

また、本所外でのプログラムとして、ふれあい科学館やムシテックワールド、猪苗代スキー場など、近隣施設との連携を図り、プログラムに広がりをもたせた。

イ 放射線の影響で野外活動について不安を持つ団体が多く見られたため、「インラインスケート」、「フリスビーゴルフ」について体育館での実施とした。また、震災で「きのこ岩」、「黒岩」の立ち入りが制限されたため、「フィールドワーク」、「スコアＯＬ」について、コースの変更を行った。さらに「マウンテンバイク」は、線量の少ないアスファルト舗装された道路を通行するコースに変更した。

#### (5) 広報活動の展開

ア 多くの団体に利用してもらえよう、利用拡大に向けて、積極的に広報活動を行ってきた。学校利用の拡大については、管内教育長会議や管内小中校長会議においてより多くの学校に利用していただけるようＰＲ活動を行った。

イ 企画事業案内、ホームページ等の改善・充実、携帯サイトの充実、電子メールを利用した広報などを積極的に活用し、自然の家のＰＲに努めた。

ウ 企画事業などでは、報道機関を通じた周知活動や広報活動を積極的に行い、利用拡大を推進してきた。

#### (6) 特色ある企画事業の開発

ア 11月及び2月にクラフト関係の企画事業を実施、2月の事業は外部講師を招聘しての企画事業とした。

イ 2月には、「わくわく！ファミリー冬のつどい」を実施、猪苗代スキー場を会場に親子でスキーやそり滑りを体験し、夜はフロッカーを行い親子のふれあいを深めた。

ウ 会津自然の家の企画事業「冬を楽しもう！ウインターフェスティバル」は、郡山、いわき海浜の各自然の家と相双教育事務所が協力する形で実施した。各協力施設が県内各担当エリアで募集・引率をした。会津自然の家に親子で宿泊し、会津の冬の風情や伝統文化のすばらしさを体感していただいた。

#### (7) 安全対策の充実

「事故はどこでもいつでも起こり得る」という認識に立って、所員の安全意識の向上を図り、施設設備の日常点検及び定期点検の実施はもちろんのこと、利用者に対しても働きかけ、積極的に安全対策を行ってきた。特に  
○食中毒防止のための、手洗い・アルコール消毒の徹底  
○スズメバチ対策のための、捕虫装置の設置と点検  
○イカダ乗りの安全確保のための非常用浮き輪の設置と点検

○松食い虫による倒木防止のための計画的な伐採などに力を入れてきた。

防災に対しては、地震から火災が起きたことを想定した避難訓練を、利用者（小学校４年生）を交えて実施するとともに、日常の点検を怠ることのないようにした。

さらに、不審者の侵入防止を図るためマニュアルを作

成して職員研修を深めた。常に来所者に声をかけ、車止めや施設の施錠の完全を期すなどして、安全管理に努めてきた。

#### (8) 施設設備等の充実

利用者が快適に利用できるように、現在の施設環境のもとでできることは何かを考えながら、ハード面ソフト面の両面から改善を行ってきた。

また、安全対策として、利用者が利用するフィールドアスレチックなどの遊具全般の点検と併せて必要な補修整備に努めてきた。

#### (9) 地元施設等との連携

10月9日（日）に実施された「出逢いにほっと 子ども夢フェスタ」は例年実施されていた浄土松公園祭りにかわるものであるが、当所では参加者が自由に体験できる「木の枝クラフト」を実施し145名が参加した。

#### (10) 放射線量低減化への取組

ア みどりの広場については、早い時期から除草に取り組んだ。刈り払い機による除草は、表面の土も削るくらいまで刈り込んだ。

イ 本館前アスファルトについては、高圧洗浄機による洗浄を実施した。洗浄を事故後早め実施したこともあり、線量の低減化に成功した。

ウ みどりの広場及び周辺の法面の表土除去、本館前道路及びつどいの広場のアスファルト張替工事、敷地内側溝清掃工事を実施した。

エ 活動エリア内のコース周辺の落ち葉等の除去作業を実施した。

## 第2節 施設・設備の概要

### 1 所在地

〒963-0213

郡山市逢瀬町多田野字中丸山46番地

### 2 宿泊定員

○ 本館166名（14部屋）

○ ロッジ126名（9棟）

### 3 敷地面積

237,587.59㎡

### 4 建物面積

延床面積 3,806.08㎡

本館（管理棟・宿泊室・研修室・浴室）、体育館、食堂、総合活動館、野外活動センター、ロッジ等

### 5 設備備品等

野外活動設備（フィールドアドベンチャー設備、アーチェリー場、マウンテンバイク、スコアオリエンテーリングコース、フィールドワークコース、営火場等）、野外炊飯場、天体望遠鏡、運動及び野外活動用具、視聴覚機器、インターネット接続大型液晶テレビ等

### 第3節 利用状況

郡山自然の家の利用者は、次のように大別される。

- 保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の園児や児童生徒及び引率者
- スポーツ少年団、子ども会育成会、学校・学級PTA等の

社会教育団体に所属する児童生徒及び引率者

- 家族等その他のグループ等

本年度の利用団体数は255団体、利用者数は、実利用者が8,123人、延べ利用者12,285人であり利用状況の詳細は、次のとおりである。なお、利用者には避難者の数は含まれない。

#### 1 月別利用状況

月	種別	学 校 教 育 団 体						社 会 教 育 団 体				ファミリー	企画事業	合 計
	区 分	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少 年	青 年	一般成人	高齢者			
4	団体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	団体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	団体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	団体数	0	0	0	1	0	0	14	0	0	0	0	0	15
	利用人員	0	0	0	40	0	0	298	0	0	0	0	0	338
	延人数	0	0	0	40	0	0	298	0	0	0	0	0	338
8	団体数	0	1	0	0	0	0	15	8	0	0	0	1	25
	利用人員	0	29	0	0	0	0	294	189	0	0	0	38	550
	延人数	0	58	0	0	0	0	522	461	0	0	0	38	1,079
9	団体数	1	21	0	0	2	0	9	2	2	0	0	0	37
	利用人員	275	1,434	0	0	58	0	287	32	158	0	0	0	2,244
	延人数	275	2,577	0	0	79	0	446	56	158	0	0	0	3,591
10	団体数	3	12	1	1	2	0	13	1	5	0	1	0	39
	利用人員	137	1,063	164	26	32	0	132	12	206	0	7	0	1,779
	延人数	137	2,095	164	26	32	0	231	24	233	0	7	0	2,949
11	団体数	0	2	0	2	0	0	18	5	4	0	1	1	33
	利用人員	0	112	0	62	0	0	359	130	104	0	5	47	819
	延人数	0	224	0	62	0	0	417	187	170	0	5	47	1,112
12	団体数	3	0	0	0	0	0	19	2	1	3	1	0	29
	利用人員	143	72	0	0	0	0	214	29	12	66	5	0	541
	延人数	270	144	0	0	0	0	245	44	12	66	5	0	786
1	団体数	0	3	0	0	0	0	19	0	2	0	1	2	27
	利用人員	0	88	0	0	0	0	278	0	20	0	2	179	567
	延人数	0	176	0	0	0	0	363	0	49	0	2	206	796
2	団体数	1	0	0	0	0	0	20	1	0	0	1	2	25
	利用人員	38	0	0	0	0	0	309	17	0	0	8	235	607
	延人数	38	0	0	0	0	0	408	17	0	0	8	260	731
3	団体数	0	0	0	0	0	0	19	4	0	0	2	0	25
	利用人員	0	0	0	0	0	0	406	70	0	0	6	196	678
	延人数	0	0	0	0	0	0	524	177	0	0	6	196	903
合 計	団体数	8	39	1	4	4	0	146	23	14	3	7	6	255
	利用人員	593	2,798	164	128	90	0	2,577	479	500	66	33	695	8,123
	延人数	720	5,274	164	128	111	0	3,454	966	622	66	33	747	12,285

## 2 利用団体別・宿泊日数利用状況

### (1) 利用者数

項 目	団体数	実利用者数	延宿泊者数	延利用者数
利用者数	255	8,123	4,162	12,285
(キャンプ)	(0)	(0)	(0)	(0)
(ロッジ)	(3)	(43)	(48)	(74)

### (2) 利用受入日

項 目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	218	189	157	76
(キャンプ)	(79)	(0)	(63)	(0)
(ロッジ)	(79)	(8)	(63)	(5)

### (3) 利用者区分

泊 数	種 別 区 分	学 校 教 育 団 体						社 会 教 育 団 体				ファミリー	企画事業	合 計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
1 日	団体数	6	5	1	4	3	0	122	4	7	3	7	4	166
	実利用者数	466	343	164	128	69	0	1,774	166	410	66	33	643	4,262
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	466	343	164	128	69	0	1,774	166	410	66	33	643	4,262
2 泊 日	団体数	2	33	0	0	1	0	22	10	3	0	0	2	73
	実利用者数	127	2,434	0	0	21	0	729	139	60	0	0	52	3,562
	延宿泊者数	127	2,434	0	0	21	0	729	139	60	0	0	52	3,562
	延利用者数	254	4,868	0	0	42	0	1,458	278	120	0	0	104	7,124
3 泊 日	団体数	0	1	0	0	0	0	2	9	2	0	0	0	14
	実利用者数	0	21	0	0	0	0	74	174	28	0	0	0	297
	延宿泊者数	0	42	0	0	0	0	148	348	56	0	0	0	594
	延利用者数	0	63	0	0	0	0	222	522	84	0	0	0	891
4 泊 日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8
5 泊 以上	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	団体数	8	39	1	4	4	0	146	23	14	3	7	6	255
	実利用者数	593	2,798	164	128	90	0	2,577	479	500	66	33	695	8,123
	延宿泊者数	127	2,476	0	0	21	0	877	487	122	0	0	52	4,162
	延利用者数	720	5,274	164	128	111	0	3,454	966	622	66	33	747	12,285

### 3 研修活動の分類と実施団体数

活動分類			学校教育利用団体						社会教育 利用団体	合 計
			幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学		
野外活動	キャンプ活動	ロ ッ ジ 泊	0	0	0	0	0	0	3	3
		テント泊	0	0	0	0	0	0	0	0
		キャンピング (テント設営・撤収)	0	0	0	0	0	0	0	0
		野 外 炊 飯	0	0	1	0	0	0	16	17
		キャンプファイヤー	0	0	0	0	0	0	3	3
		キャンドルフアイヤー	2	18	0	0	1	0	2	23
	自然ふれあい活動	自然散策	0	1	0	0	0	0	1	2
		ネイチャーゲーム	0	0	0	0	0	0	0	0
		フィールドワーク	0	5	0	0	0	0	4	9
		フィールドアドベンチャー	0	1	0	0	0	0	1	2
		スコアオリエンテーリング	0	1	1	0	0	0	2	4
		スタンプラリー	0	0	0	0	0	0	0	0
		ウォークラリー	0	1	0	0	0	0	0	1
		沢遊び	0	0	0	0	0	0	0	0
		ハイキング	0	0	0	0	0	0	0	0
		登山	0	0	0	0	0	0	0	0
		雪遊び・そりすべり	0	3	0	0	0	0	1	4
		ナイトハイク	0	2	0	0	0	0	2	4
		星空ウォッチング	0	3	0	0	0	0	0	3
	レク・ゲーム	伝承遊び	0	0	0	0	0	0	0	0
		旗とりゲーム	0	0	0	0	0	0	0	0
		室内スポーツ	2	18	0	0	1	0	90	111
		室内サーキット	2	35	0	0	3	0	11	51
		アーチェリー	0	9	0	0	1	0	2	12
		マウンテンバイク	0	5	0	0	0	0	2	7
		インラインスケート	0	18	0	0	0	0	2	20
		フリスビーゴルフ	0	7	0	0	0	0	2	9
		グランドゴルフ	0	1	0	0	0	0	0	1
		フロッカー	0	9	0	0	0	0	3	12
室内活動	文化活動	施設を訪ねて	0	2	0	0	0	0	0	2
		室内研修	0	6	0	0	1	0	129	136
		ボランティア	0	4	0	0	0	0	0	4
	クラフト活動	張り子面	0	0	0	0	0	0	3	3
		森の標本箱	0	4	0	0	0	0	1	5
		押し花アート	0	2	0	0	0	0	1	3
		焼き板	0	7	0	0	0	0	2	9
		草木染め	0	1	0	0	1	0	2	4
		革細工	0	6	0	0	1	0	6	13
		プラ板キーホルダー	1	4	0	0	0	0	3	8
絵手紙	0	2	0	0	0	0	1	3		
森 林 環 境 学 習 プ ロ グ ラ ム			0	0	0	0	0	0	0	
職 場 体 験 学 習 プ ロ グ ラ ム			0	0	0	0	0	0	0	
高 齢 者 対 応 ク ラ フ ト 教 室			0	0	0	0	0	0	0	
合 計			7	175	2	0	9	0	295	488

## 第4節 企画事業

企画事業については、福島第一原子力発電所の事故に伴い、7月12日まで閉所となったため、その期間の事業はすべて中止とした。7月12日以降の事業については、それぞれ個別に実施の可否を判断した。

### 1 実施した事業

#### (1) 学校利用指導者研修会

年2回実施予定を1回の実施とした。

ア 目的

当所を主体的に利用することができるようにするため、活動計画の立て方や研修の進め方について研修し、指導者としての資質を高める。

イ 期日・対象校及び参加者数

期 日 平成23年8月23日(火)  
対象校 8月～3月まで利用の学校  
参加者 38名

ウ 研修内容

- ・施設案内
- ・本所プログラムの紹介
- ・実技研修（フィールドワーク、スコアOLなど）
- ・活動プログラムの作成（各学校の子どもの実態に応じて）
- ・活動プログラムの調整（所バス利用調整を含む）

#### (2) 深まる秋！まるごと体験

ア 目的

自然の家の周辺にある木の実や倒木等の自然素材を生かしたクラフト活動などを通して、自然への理解や家族の交流を図る。

イ 期日・対象者及び参加者数

期 日 平成23年11月20日（日）  
対象者 一般  
参加者 47名

#### (3) わくわく！ファミリー冬のつどい

ア 目的

スキー教室を通して、白銀の世界を体感するとともに、家族の絆を深める。

イ 期日・対象者及び参加者数

期 日 平成24年2月4日（土）～5日（日）  
対象者 小学生を含む家族  
参加者 25名

ウ 活動内容

猪苗代スキー場でのスキー体験、フロッカー体験

#### (4) 冬の文化祭「クラフトまつり」

ア 目的

自然の家のクラフト（革細工・森の標本箱）や食堂での食事を体験することを通して利用拡大を図る。

イ 期日・対象者及び参加者数

期 日 平成24年2月19日（日）  
対象者 一般  
参加者 42名

#### (5) 活動館開放します

ア 目的

放射線の影響で、戸外で活動できない子どもたちのために、活動館を開放し、からだを動かす機会をつくる。

イ 期日・対象者及び参加者数

期 日 平成24年1月8日（日）～3月25日（日）  
の毎週日曜日（2月12日を除く）

対象者 一般

参加者	1月 8日	30名	2月26日	33名
	1月15日	68名	3月 4日	44名
	1月22日	31名	3月11日	42名
	1月29日	23名	3月18日	17名
	2月 5日	42名	3月25日	93名
	2月19日	93名	合 計	516名

#### (6) 協力事業 冬を楽しもう！ウィンターフェスティバル（会津自然の家企画）

ア 目的

会津自然の家での宿泊、雪国ならではの冬を楽しむ活動や伝統的な活動を通して、会津の冬や伝統文化のすばらしさを体験させるとともに、参加者相互の交流を深める。

イ 期日・参加者数

期 日 平成24年1月28日（土）～29日（日）  
参加者 27名（当所からの参加者数）

## 2 中止した事業

#### (1) 社会教育団体利用指導者研修会（第1回、第2回）

当所を主体的に利用できるようにするため、研修計画の立て方や研修の進め方について研修し、指導者としての資質を高める。

#### (2) サクラ・カタクリ週間

所内の桜やカタクリの群生地や自然の家のプログラムを体験し春の自然を満喫するとともに、家族の絆を深める。

#### (3) さくらウォーク

春の野山や田園地帯を歩きながら草花や樹木を觀賞することを通して自然に親しみ、人とのふれあいを深める。三穂田町千本桜までのウォーク（ロングコース 10km とショートコース 5km の2コースを設定）

#### (4) 夢冒険キャンプ

キャンプ生活を通して自然との共存を図りながら、様々な困難に打ち勝つことのできる子どもたちを育成する。

#### (5) 郡山自然の家オープンデー

自然の家の理解を深めるとともに、体験活動を通して利用拡大を図る。

#### (6) 手作りクリスマス

自然の家の周辺にある素材を生かしたクラフト活動を通して、自然とのふれあいを深める。



## 第5節 その他

### 福島第一原子力発電所の事故による避難者受入状況

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」(M9.0)及びその後の東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害による避難者受入状況は次の通りである。

#### (1) 避難者の出身市町村別数

いわき市	145	大熊町	14
川内村	51	双葉町	9
富岡町	48	小野町	7
田村市	26	檜葉町	3
浪江町	18	広野町	2
南相馬市	17	合 計	340

#### (2) 避難者受入状況の推移

月 日	避難者数	備 考
3月15日	269	受け入れ開始日
3月31日	111	
4月30日	74	
5月31日	66	
6月30日	39	
7月31日	9	
8月28日	0	受け入れ終了日

# 福島県会津自然の家

## 第1節 概要

福島県会津自然の家は、恵まれた自然環境の中で、自然に親しむ活動や集団宿泊生活、野外活動を体験することにより心豊かで心身ともに健全な県民を育成することを目的とした社会教育施設である。

昭和56年4月に開所し、本年度末で31年になり、開所以来多くの方々にご利用いただいているところである。

本年度の利用者数は、東日本大震災及び福島第一原発事故の影響により、3月14日～7月2日まで一時避難所としての役割を担ってきたため、前年度利用者数を大きく下回る結果となったが、7月下旬からの施設再開以降、「ふくしまっ子体験活動応援事業」の実施をはじめ、様々な企画事業を実施して2万人を超える利用者を確保することができた。

また、次の3つの重点目標を掲げ、その達成に努めるとともに、誰もが利用しやすい魅力的な施設をめざして運営の改善を図り、時代や利用者のニーズに対応した社会教育施設の役割に積極的に取り組んできた。

### 〈重点目標〉

- (1) 利用団体を支援する体制を整備する。  
→ 利用による付加価値を高める。
- (2) 利用者層の拡大に努める。  
→ 生涯学習施設としての役割を担う。
- (3) 環境の整備に努める。  
→ 事故ゼロを目指す。

## 1 職員組織

職       名	所       長	次       長	主       査	主       主任指導主事	社       会教育主事	指       導主事	体       験活動指導員	嘱       託運転手	臨時労務員(事務補助員)	計
人員	1	1	1	1	2	1	2	1	3	13

## 2 平成23年度重点目標と成果

- (1) 利用団体を支援する体制を整備する。  
→ 利用による付加価値を高める。

### ＜取組の重点＞

ア 利用団体、特に幼稚園、学校での目的と活動の整合性を図る。

- ・ 事前打ち合わせ等で利用団体の活動のねらいをしっかりと聞き取り、活動プログラムのねらいとの整合性を図る。
- イ 信頼関係づくりゲーム、森林環境学習等の出前講座の充

実を図る。

- ・ 信頼関係づくりゲーム、森林環境学習のプログラムを敷衍すると共に、出前講座を積極的に推進する。

ウ 専門的知識・技能、経験等を有する講師を活用できるよう、コーディネートする。

### ＜取組の結果＞

ア 幼稚園、学校での利用目的の差はみられるが各プログラム終了後の振り返りの時間を設定する団体は少しずつ増えてきており、今後も事前研修会、受入時打合せなどの機会を活用し声をかけていきたい。利用者アンケートの結果によれば、利用者の満足度は高く、支援の体制は整ってきたと判断される。

イ 自然の家に来られない場合には、学校周辺の環境を活用して森林環境学習を実施できる旨を伝え、信頼関係づくりゲームのよさを体感してもらうために、事前研修会や企画事業のオリエンテーションなどを実施して周知してきた。その結果、信頼関係づくりゲームを雨の時の活動として設定する団体が増えてきた。森林環境学習については実施する団体が少ないため、今後のさらなる働きかけが必要である。

ウ 民話の語り部、自然観察、スキー講師、星空案内人など、各種プログラム、企画事業においての活用は定着してきている。また、企画事業のサポート、コース・施設環境の整備において、一般、高校生のボランティア活動も充実してきており、支援体制の充実が図られてきている。

### (2) 利用者層の拡大に努める。

#### → 生涯学習施設としての役割を担う。

### ＜取組の重点＞

ア ホームページの充実に努め、随時更新し、最新の情報発信を行うとともに、主催事業等においては、広報誌、新聞社等への記事提供を行うなど、積極的な広報に努める。

イ 「会津自然の家だより」を定期的に発行し関係機関に配布するとともに、地域の広報誌、マスコミ等を積極的に活用する。

ウ 学校関係以外の機関や地域の各種サークル等への広報活動も積極的に推進する。

### ＜取組の結果＞

ア ホームページの随時更新、県内の教育委員会、公民館等へのPR活動などを行い、積極的に広報活動に努め、特に冬場のスキー学習での利用を増やすことができた。

イ 自然の家だよりの季刊発行、地域情報紙（2紙）への掲載依頼、さらには、アスレチック、その無料開放デーを設けることにより利用拡大を図ることができた。

ウ 学校関係以外の機関、サークルへの周知活動は十分ではなかった。合唱団体などのサークル、老人会、大学等への

利用拡大を図っていきたい。

### (3) 環境の整備に努める。

#### → 事故ゼロを目指す。

＜取組の重点＞

ア 常に整理整頓、定物定位置を心がけ、美しい環境作りに努める。

イ 事故発生予防に努める。

- ・ 定期的な点検の充実に努める。
- ・ 防火防災等安全に係る計画を見直し、改善を図る。

＜取組の結果＞

ア 臨時労務員の確保により、コースや周辺環境の整備には、これまで以上に取り組むことができた。

イ 毎月の定期点検はもとより、各種プログラムの実施の中でも常に気を配り、補修箇所、危険箇所については即座に対応し、事故発生の予防に努めた。

ウ 防火防災等安全に関わる「危機対応マニュアル」や利用団体に配付する「もしものときのために」の内容の検討を行い、より広範囲にわたる困難な状況に対応ができるように改善を図った。

## 第2節 施設・設備の概要

### 1 所在地

- 河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山4495-1

### 2 宿泊定員

- 本館 25室 290名(うち1室障がい者用)
- ロッジ 10棟 150名
- テント 20張 120名

### 3 敷地面積

- 251,432㎡

### 4 建物面積

- 延床面積 5,462.7365㎡
  - ・ 管理研修棟(鉄筋造2階建)
  - ・ 宿泊棟(鉄筋造2階建)
  - ・ プレイホール(鉄筋造)
  - ・ アセンブリホール(鉄筋造)
  - ・ 機械棟(鉄筋造3階建)
  - ・ ロッジ(木造平屋建)
  - ・ 野外活動管理センター(鉄筋造)
  - ・ 炊飯場(鉄筋造)
  - ・ 薪置場(コンクリートブロック造)
  - ・ 車庫(鉄筋造)・野外便所(鉄筋造)

### 5 運動広場面積

- 8,500㎡

### 6 設備備品等

- ・ フィールドアスレチック・アルペンスキー
- ・ 歩くスキー(クロカンスキー)・そり
- ・ スノーシュー
- ・ 野外活動用具・野外炊飯用具・運動用具
- ・ 双眼鏡・天体望遠鏡・テレビ・VTR
- ・ 液晶プロジェクター・ピアノ
- ・ オルガン・CDカセットプレーヤー
- ・ 伝承遊びセット・クラフト用具
- ・ 各種OL用具・営火場(4箇所)
- ・ 諸活動コース・その他

## 第3節 利用状況

- 当施設を利用できる対象者は、次のとおりである。

- (1) 学校団体(小学校、中学校、特別支援学校、高校、大学、高等専門学校、幼稚園等の構成員及びその指導者)
- (2) 社会教育団体(公民館、子ども会、保育所、スポーツ少年団体、家族、老人会、勤労青少年団体等)の構成員及びその指導者
- (3) その他、教育長が適当と認めた者

- 本年度の利用団体数は316団体、実利用者数は15,384人、延利用者数は23,512人である。

- 屋外活動を制限された子どもたちの心身の健康、リフレッシュを図るため、外遊びや自然体験活動の機会提供を目的とした「自然の家体験活動応援事業」をはじめ、様々な独自の企画事業を実施して利用者の拡大に努めた。

- 月別利用状況、利用団体別・宿泊日数別利用状況、研修活動の分類と実施団体数についての詳細は、次の表のとおりである。

# 1 月別利用状況

(平成24年3月31日現在)

月	種別	学校教育団体						社会教育団体				家族	企画事業	合計
	区分	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般	高齢者			
4	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	団体数	2	2	0	0	0	0	4	0	0	0	1	4	13
	利用人員	100	189	0	0	0	0	104	0	1	0	2	612	1,008
	延人数	174	189	0	0	0	0	217	0	1	0	4	612	1,197
8	団体数	3	2	0	0	0	0	16	0	1	0	6	12	40
	利用人員	92	113	0	0	0	0	577	0	8	0	47	1,323	2,160
	延人数	232	169	0	0	0	0	1,220	0	51	0	94	1,670	3,436
9	団体数	7	35	0	0	0	1	9	0	2	0	4	1	59
	利用人員	498	2,067	0	0	0	8	266	0	94	0	22	174	3,129
	延人数	519	4,382	0	0	0	24	353	0	116	0	39	522	5,955
10	団体数	7	38	1	0	0	1	16	0	5	1	0	1	70
	利用人員	280	1,899	155	0	0	8	578	0	149	17	0	44	3,130
	延人数	280	3,055	155	0	0	24	832	0	213	17	0	88	4,664
11	団体数	4	10	3	0	0	0	4	1	0	1	0	4	27
	利用人員	174	573	244	0	0	0	238	22	4	19	0	92	1,366
	延人数	174	700	289	0	0	0	256	66	6	19	0	92	1,602
12	団体数	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	6	12
	利用人員	0	15	0	0	0	0	81	22	26	13	0	349	506
	延人数	0	30	0	0	0	0	101	66	27	13	0	367	604
1	団体数	17	8	0	0	0	0	9	0	1	0	0	2	37
	利用人員	767	380	0	0	0	0	328	0	14	0	0	301	1,790
	延人数	951	410	0	0	0	0	328	0	15	0	0	799	2,503
2	団体数	18	5	0	0	1	0	12	1	2	0	1	1	41
	利用人員	778	241	0	0	64	0	420	26	55	0	10	146	1,740
	延人数	778	681	0	0	64	0	597	52	66	0	10	292	2,540
3	団体数	4	0	0	1	0	1	8	0	2	0	0	1	17
	利用人員	101	0	0	53	0	24	296	0	17	0	0	64	555
	延人数	115	0	0	132	0	180	434	0	22	0	0	128	1,011
合計	団体数	62	101	4	1	1	3	80	3	14	3	12	32	316
	利用人員	2,790	5,477	399	53	64	40	2,888	70	368	49	81	3,105	15,384
	延人数	3,223	9,616	444	132	64	228	4,338	184	517	49	147	4,570	23,512

## 前年対比

期 間	区 分	22年度	23年度	増 減
4 月 ～ 3 月	団体数	519	316	-203
	実利用者	25,082	15,384	-9,698
	延利用者	41,063	23,512	-17,551

## 2 利用団体別・宿泊日数利用状況

### (1) 利用者数 ( ) はキャンプ内数

項 目	団 体 数	実利用者数	延宿泊者数	延利用者数
利用者数	316	15,384	8,240	23,512
(キャンプ)	0	0	0	
(ロッジ)	(9)	(279)	(601)	(601)

### (2) 利用者受け入れ日数

項 目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	220	191	180	102
(キャンプ)	(90)	0	(78)	0
(ロッジ)	(90)	(25)	(78)	(17)

### (3) 利用者区分

泊	種 別	学 校 教 育 団 体						社 会 教 育 団 体				家 族	企 画 事 業	合 計
	区 分	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少 年	青 年	一 般	高 齢 者			
1	団体数	53	42	3	0	1	0	39	0	9	3	2	22	174
	実利用者数	2,504	2,350	354	13	64	0	1,633	0	259	49	15	1,897	9,138
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	2,504	2,350	354	13	64	0	1,633		259	49	15	1,897	9,138
2	団体数	4	39	1	0	0	0	35	1	4	0	10	8	102
	実利用者数	139	2,213	45	1	0	2	1,142	26	99	0	66	837	4,570
	延宿泊者数	139	2,213	45	1	0	2	1,142	26	99	0	66	835	4,570
	延利用者数	278	4,426	90	2	0	4	2,284	52	198	0	132	1,560	9,026
3	団体数	5	19	0	1	0	2	3	2	0	0	0	2	34
	実利用者数	147	816	0	39	0	16	42	44	5	0	0	371	1,480
	延宿泊者数	294	1,632	0	78	0	32	84	88	10	0	0	742	2,960
	延利用者数	441	2,448	0	117	0	48	126	132	15	0	0	1,113	4,440
4	団体数	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	実利用者数	0	98	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	158
	延宿泊者数	0	294	0	0	0	0	180	0	0	0	0	0	474
	延利用者数	0	392	0	0	0	0	240	0	0	0	0	0	632
5	団体数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	44
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	55
以 上	団体数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	実利用者数	0	0	0	0	0	22	0	0	5	0	0	0	27
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	154	0	0	40	0	0	0	194
	延利用者数	0	0	0	0	0	176	0	0	45	0	0	0	221
合 計	団体数	62	101	4	1	1	3	80	3	14	3	12	32	316
	実利用者数	2,790	5,477	399	53	64	40	2,888	70	368	49	81	3,105	15,384
	延宿泊者数	433	4,139	45	79	0	188	1,450	114	149	0	66	1,577	8,240
	延利用者数	3,223	9,616	444	132	64	228	4,338	184	517	49	147	4,570	23,512

### 3 研修活動の分類と実施団体数

(平成24年3月31日現在)

#### (1) 野外活動

No.	プログラム名	学校	社教	計
1	アルペンスキー	11	9	20
2	フィールド・アスレチック	23	15	38
3	野外炊飯	16	5	21
4	キャンプファイヤー	17	10	27
5	どきどきナイトハイク	19	6	25
6	そり・チューブ滑り	24	21	45
7	星空ウォッチング	14	0	14
8	宇宙大作戦	24	2	26
9	散策	13	8	21
10	U F O ゴルフ	7	1	8
11	会津の歴史・町並みハイク	12	3	15
12	地層と化石の観察	19	0	19
13	アニマルランドの冒険	3	2	5
14	火起こし体験	11	1	12
15	樹木オリエンテーリング	9	2	11
16	カヌー	12	8	20
17	バームクーヘン	1	6	7
18	森林環境学習	5	0	5
19	昆虫ウォッチング	3	0	3
20	かにの沢で遊ぼう	0	1	1
21	雪遊び	1	3	4
22	自然観察	4	7	11
23	ネイチャー・ゲーム	3	0	3
24	登山	1	2	3
25	ビンゴオリエンテーリング	9	1	10
26	森遊び	7	2	9
27	バーベキュー	0	2	2
28	草滑り	2	5	7
29	雪像づくり	0	2	2
30	どうぶつ村の大運動会	2	0	2
31	史蹟めぐり	0	1	1
32	アニマルトラッキング	0	0	0
33	川の学習	2	0	2
34	ハイキング	1	0	1
35	雪上ハイキング	0	3	3
36	ダッチオープン〈ピザ〉	0	5	5
37	ウォークラリー	1	1	2
38	すごろくオリエンテーリング	1	0	1
39	焼き板	2	0	2
40	スコアオリエンテーリング	5	0	5

#### (2) 室内活動

No.	プログラム名	学校	社教	計
1	クラフト	13	17	30
2	室内ゲーム	6	20	26
3	信頼関係づくりゲーム	7	4	11
4	会津の民話	4	2	6
5	キャンドルファイヤー	4	6	10
6	ケーキづくり	0	1	1
7	読み聞かせ	0	1	1
8	伝統工芸	2	1	3
9	テーブルマナー教室	0	3	3
10	そば打ち体験	1	3	4
11	音楽関係練習（吹奏楽他）	0	5	5
12	ダンス、剣道等練習	0	6	6
13	団体独自（学習会他）	0	4	4
14	絵手紙	1	4	5

\*クラフトには、森の生きものたち、ストーンペインティング、もっくんキーホルダーすかし葉づくり、竹とんぼ等の活動を含む

## 第4節 企画事業

### 1 指導者の研修

#### (1) 学校団体指導者事前研修会

##### ア 目的

当所の設立の趣旨・教育目標・方針・利用のねらい及び運営方法を理解し、児童・生徒が安全に生活し充実した活動が行えるよう、屋内外の施設環境を確認するとともに、各種プログラムのねらいや配慮事項を理解し、効果的な活動計画が作成できるようにする。また、集団宿泊生活が円滑かつ効果的に進められるよう、同時期に宿泊する他の学校団体との活動及び役割分担等について調整を図る。

##### イ 期日・対象・参加者数

第1回：平成23年8月 3日（水）

8/30～9/ 9に利用する学校の教職員12名参加

第2回：平成23年8月 8日（月）

9/13～9/22に利用する学校の教職員13名参加

第3回：平成23年8月 9日（火）

9/23～10/7に利用する学校の教職員31名参加

第4回：平成23年8月10日（水）

10/12～10/28に利用する学校の教職員12名参加

##### ウ 研修内容

- (ア) 利用の仕方及び利用日までの手続き、準備物の確認
- (イ) 活動計画の作成及び同時期利用団体との調整
- (ウ) プログラム及び活動内容・指導方法の理解
- (エ) 施設及び避難経路の確認

### 2 利用促進事業

#### (1) もみじ自然観察会

##### ア 目的

会津自然の家周辺のコース内で紅葉を主とした自然観察をしながら歩くことにより、自然のすばらしさを味わうとともに参加者相互の交流を深める。

##### イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成23年11月6日（日） 日帰り

(イ) 健康な方19名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) 会津自然の家周辺活動コース  
「杉の沢コース」「北の尾根コース」

#### (2) 打って食べて大満足 新そばにチャレンジ

##### ア 目的

そば打ち体験を通して、郷土の食生活、食の大切さを理解し、参加者同士の交流を深める。

##### イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成23年11月12日（土）・13日（日） 2日間

(イ) 小・中学生の親子41名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) そば打ち実演
- (イ) そば茹で実演

(ウ) そば口上実演

(エ) そば打ち体験

(オ) 試食

#### (3) 手作り森のクリスマス

##### ア 目的

クリスマスケーキ・クラフト作りを通して、手作りのよさや自然素材のよさを味わわせるとともに、家族やグループ間の交流を図る。

##### イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成23年12月10日（土）・11日（日）日帰り 2回

(イ) 小・中学生の親子や知人80名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) ケーキ職人の技披露  
生地づくり  
ロールの仕方  
デコレート
- (イ) ケーキ作り体験
- (ウ) クリスマスクラフトの飾り作成
- (エ) 試食会

#### (4) 冬休み学習宿!!

##### ア 目的

自然の家での活動を通して、他の参加者との交流を深め、自分から進んで生活や学習する態度を身につける。

##### イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成23年12月25日（日）～26日（月） 1泊2日

平成23年12月26日（月）～27日（火） 1泊2日

(イ) 小学3年～6年生133名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) 学習（国語、算数、理科、社会）
- (イ) 毛筆書写
- (ウ) 交流事業（ドッジビー）

#### (5) 冬を楽しもう！ウィンターフェスティバル

##### ア 目的

福島県会津自然の家での集団宿泊活動、雪国ならではの冬を楽しむ活動を通して、会津の冬の風情や伝統文化のすばらしさを発見させるとともに、参加者相互の交流を深める。

##### イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成24年1月28日（土）～29日（日） 1泊2日

(イ) 小・中学生の親子104名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) 雪像づくり
- (イ) そり滑り、チューブ滑り、スノーシュー
- (ウ) アルペンスキー、クロスカントリースキー
- (エ) 会津の民話

### 3 その他の企画事業

#### (1) 自然の家体験活動応援事業

(オ) 雪像・かまくら作り体験

(カ) スノーシュー体験 等

##### ア 目的

県内の子どもの心身の健康やリフレッシュを図るため外遊び、自然体験活動等の機会を提供する。

##### イ 期日・対象・参加者数

プラン1：日帰り開放プラン「わくわくホリディ」

- ・平成23年7月23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)  
8月6日(土)、7日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
- ・福島県内の小、中学生とその家族1,535名参加

プラン2：親子宿泊プラン「大自然満喫夏のつどい」

- ・平成23年8月12日(金)~13日(土)  
8月17日(水)~18日(木) 1泊2日2回実施
- ・福島県内の小・中学生とその家族計347名参加
- ・平成23年9月23日(金)~25日(日) 2泊3日
- ・福島県内の小・中学生とその家族174名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) アスレチックやカヌー等既存のプログラムに家族単位で自由に選択して活動する。(日帰り)
- (イ) 日帰りプランに、フリープラン、火起こし・野外炊飯、星空ウオッチング等を追加(1泊2日、2泊3日)

#### (2) 会津自然の家 自然体験企画事業(新企画)

##### ア 目的

自然の中での冒険体験等を通して、自立心や忍耐力、協調性を養うとともに、自然と調和することの大切さを知る。

##### イ 期日・対象・参加者数

プラン1：家族で楽しむ わくわくキャンプ

- ・平成23年10月22日(土)~23日(日) 1泊2日
- ・福島県内の小、中学生とその家族42名参加

プラン2：会津坂下町 歴史探索の旅

- ・平成23年11月20日(日) 日帰り
- ・福島県内の小、中学生とその家族45名参加

プラン3：森のクリスマス

- ・平成23年12月17日(土)、18日(日) 日帰り2回
- ・福島県内の小、中学生とその家族計143名参加

プラン4：わくわくドキドキ冬の自然体験事業Ⅰ

- ・平成24年1月7日(土)~9日(月) 2泊3日
- ・福島県内の小、中学生197名参加

プラン5：わくわくドキドキ冬の自然体験事業Ⅱ

- ・平成24年2月25日(土)~26日(日) 1泊2日
- ・福島県内の小、中学生146名参加

プラン6：わくわくドキドキ冬の自然体験事業Ⅲ

- ・平成24年3月17日(土)~18日(日) 1泊2日
- ・福島県内の小、中学生64名参加

##### ウ 活動内容

- (ア) キャンプ体験(テント泊、火起こし・野外炊飯)
- (イ) 町内ハイキング、クラフト体験
- (ウ) クリスマスリース、ケーキ作り体験
- (エ) スキー、そり、餅つき体験



# 福島県いわき海浜自然の家

## 第1節 概要

福島県いわき海浜自然の家は、海と山の豊かな自然環境の中で様々な活動や集団宿泊体験を通して、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした社会教育施設として平成8年7月に開所した。

開所以来、学校の利用はもとより、スポーツ少年団、子ども会などの社会教育団体や家族など、あらゆる年齢層に利用されていた。

しかし、本年度は平成23年3月11日発生の東日本大震災により、ロッジの一部が崩落するなど野営場を中心に大きな被害を受けた。また、震災後数日間にわたって久ノ浜地区住民の避難場所となり、その後災害救助支援における陸上自衛隊の中継基地として利用された。

このことから10月末まで閉所を余儀なくされ、11月1日から新たに財団法人いわき市教育文化事業団を指定管理者として本館とつどいの広場を中心に一部再開した。利用者が少しでも安心して利用できる環境を創出するため、いわき市の除染計画にもとづいて、活動エリアの放射線量測定やデータの公開を行うとともに、本館周辺とつどいの広場の線量低減措置を講じた。

本所の立地条件（海浜型・林間型）を活かした活動が制限されることから、新規活動プログラムを開発・検討したが、学校団体の利用はほとんどない結果となった。一方、市内の教育文化施設や公民館との連携を図り、独自性のある活動プログラムを提供するとともに、社会教育団体の利用拡大に努めた。

また、震災後の現状について理解を深め、地域に開かれた施設として一般開放による事業「オープンイベント」や「復興祭」を実施するなど、多くのボランティアスタッフの協力をいただいて、利用者のニーズに即した企画事業を開催した。

さらに、文部科学省教育復興支援事業である「OECD東北スクール」を共催し、被災3県の中高生とともに、積極的に東北の復興を支援するプロジェクトに協力した。

本年度（5カ月間）の利用状況は、80団体（昨年比15%）、延べ利用数が11,825人（昨年比18%）となった。

### (1) 被災状況

- ア 野営場の地すべりによりロッジ2棟が全壊。1棟が基礎部崩落。あわせてロッジ3棟が使用不能。
- イ カヌー・いかだ保管庫の流出。
- ウ 本館内の一部損壊。
- エ 営火場・つどいの広場・多目的広場等の一部損壊。

### (2) 震災後の運営状況

- ア 震災直後、いわき市指定の避難所として、千人近い被災者の避難所となる。
- イ 久ノ浜地区は原発事故の影響で屋内退避区域となり、3月13日、避難者は湯本第二中学校へ移動する。
- 3月15日、いわき海浜自然の家事務所を県いわき合同庁

舎へ移す。完全に閉所状態となる。

ウ 3月21日～6月21日まで、自衛隊が駐留する。事務所機能を一部再開する。

エ 4月1日、いわき教育事務所兼務が発令される。当面指定管理の開始が延期される。

4月5日から6月30日まで、四倉高校・平工業高校や楡葉町災害対策本部の支援にあたる。

オ 8月1日、教職員の異動発令に伴い、管理部門のみとなる。

カ 11月1日、指定管理者へ管理運営を移行する。

## 1 平成23年度重点目標と成果

震災によって、これまでの自然体験活動が制限される中、少しでも多くの利用者が、新たな発見や感動、満足感・充実感を味わうことにより、本来の活動目的が達成されるよう次の目標に取り組んだ。

### (1) 本施設の設置目的の明確化とその周知及び利用促進を図る。

ア 学校団体については、自然体験活動が制限される中で教育施設として、青少年健全育成を目的とした利用のあり方など、広報活動を通して概ね周知できた。しかし、学校団体は利用キャンセルが相次ぐ結果となった。

社会教育団体については、代表者打合せや受付時を活用し、震災後の現状について理解を求めた。

イ オリエンテーションや放送での呼びかけを通して、社会的集団のルールの定着を図った。

ウ 利用団体の指導者への啓発的支援を通して、青少年の自主的自律的な態度の育成を図った。

エ オープンイベントや復興祭などの企画事業を充実し、利用の促進につなげることができた。

オ 教育文化施設や公民館、OECD東北スクールなどの共催事業をととして震災復興支援や利用促進を図った。

### (2) 利用者のニーズに対応した施設運営に努める。

ア 幼児から高齢者まで、多様なニーズに対応した幅広いプログラムの実施と震災後の新しいプログラムの開発に努めた。

イ 企画事業を通してアンケート調査を実施し、利用者のニーズについて調査・研究を行い、利用ニーズに応じた支援を実施した。また、利用者の自主性・主体性を助長できるよう、工夫・改善に努めた。

### (3) 事故の未然防止、危機管理体制の充実に努める。

ア 受付やオリエンテーション、活動支援において安全のための適切な助言や指導を行った。

イ 学校・社会教育団体ともに事前研修会を実施し、安全で有効かつ適切な施設の活用について周知徹底するとともに、利用団体の指導者に対して適切な依頼・指示を行い安全教育の充実を図ってきた。

しかし、本年度は学校団体の利用がほとんどなかったため、社会教育団体の利用時に安全対策の徹底を図り、事前説明会は開催しなかった。

ウ 今回の震災を教訓として、事故発生時の緊急対応及び連絡体制を明確にし、情報の共有化を徹底し、危機管理体制の充実に努めた。

自然災害等での避難方法をマニュアル化し、人命の安全と被害防止に努めた。

エ 本年度の利用はなかったが、危機管理意識をもって、週一回、アスレチックコース等の安全点検を行い、遊具等の安全管理に努めた。

また、施設全体について放射線量の測定を実施し、ホームページに公開するとともに、関係機関との協議を行いながら、本館周辺とつどいの広場について放射線量の低減措置を実施した。

**(4) 定期的な業務内容の点検と改善に努める。**

ア 計画的かつ定期的な評価により、改善点の明確化を図り、密度の高い施設運営に努めた。

イ 多面的かつ多角的な視点から、業務遂行の在り方について検討し、開かれた施設運営に努めた。

ウ 利用者へのアンケート結果を参考に、業務遂行の在り方を検討し、利用者の目線に立った支援や管理運営に努めた。

**(5) 地域との連携を深め、生涯学習実践の場として機能する施設運営に努める。**

ア ボランティア養成と活動の場を的確に位置づけ、特に本年度は環境ボランティアを中心に地域との関係を密接にし、地域に根ざした施設づくりに努めた。

イ 支援ボランティアが企画事業の一端を自主運営するなど、ボランティア活動の場の充実に努めた。

ウ 公民館、支所、消防署、派出所、教育文化施設等のほか、地域の各種団体など、関係機関との連携を十分に図ることができた。

エ オープンイベントや復興祭など、地域の連携・協力を得て開催した。

オ いわき教育事務所との連携の下に、地域の生涯学習の推進に努めた。また、企画事業においては関係諸機関との連携を図ることができた。

**2 職員組織**

所	次	主	専	指	体	運	事	
長	長	事	門	導	験	転	務	計
			指	員	活	手	補	
			導		動		助	
			員		指		員	
					導			
					員			
1	1	1	1	4	4	1	1	14

**第2節 施設・設備の概要**

**1 所在地**

いわき市久之浜町田之網字向山53

**2 宿泊定員**

- 本館定員 300名（和室28室）
- ロッジ定員 160名（10棟）
- テント定員 100名（25張）

**3 敷地面積**

- 350,171㎡

**4 建物面積**

- 6,696.97㎡
- 中心施設  
本館（宿泊室、オリエンテーションホール、研修室、野外学習室、事務室、食堂、浴室等）  
体育館
- 野外施設  
管理棟、ロッジ、便所等

**5 野外活動施設面積**

- つどいの広場 7,000㎡
- 多目的広場 8,890㎡
- 自然観察園 4,050㎡
- みんなの広場 4,700㎡

**6 設備備品等**

- 体育館（バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面、バトミントンコート2面、卓球台3台、ピアノ1台他）
- 野営場（野外炊飯、キャンプ用品一式、冷蔵庫他）
- 野外活動設備（フィールドアスレチックコース、冒険の森歩道、トリムコース、営火場7ヵ所、各種オリエンテーリングコース、ナイトハイキングコース、ウォークラリーコース、ロープコース、マウンテンバイクコース 他）
- 多目的広場（サッカー、ソフトボール、マウンテンバイクコース他）
- その他（視聴覚機器、天体望遠鏡、双眼鏡、七宝焼窯、釣り用具一式、海浜活動用具一式）

### 第3節 利用状況

#### 1 平成23年度 月別利用状況一覧表（3月末現在）

##### (1) 前年対比

期間	区分	22年度	23年度	増 減
4月～3月	団 体 数	546	80	-466
	実利用者	30,284	3,348	-26,936
	延利用者	66,611	11,825	-54,786

##### (2) 利用実績及び申込状況

月	種別 区分	学 校 教 育 団 体						社会教育団体				ファミリー	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
4	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	団 体 数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
	実利用者	0	0	0	0	0	0	159	0	0	0	0	350	509
	延利用者	0	0	0	0	0	0	159	0	0	0	0	350	509
12	団 体 数	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	5
	実利用者	0	0	0	0	0	0	117	25	0	0	0	34	176
	延利用者	0	0	0	0	0	0	117	50	0	0	0	68	235
1	団 体 数	1	0	0	0	6	0	3	2	9	0	3	4	28
	実利用者	35	0	0	0	215	0	143	88	314	0	14	70	879
	延利用者	70	0	0	0	215	0	823	512	977	0	14	106	2,717
2	団 体 数	3	0	0	0	1	0	2	2	3	1	0	3	15
	実利用者	148	0	0	0	23	0	101	55	72	27	0	44	470
	延利用者	148	0	0	0	23	0	1,525	699	1,324	27	0	44	3,790
3	団 体 数	2	0	0	0	0	0	16	4	2	0	1	4	29
	実利用者	54	0	0	0	0	0	612	45	46	0	37	520	1,314
	延利用者	54	0	0	0	0	0	2,167	151	983	0	74	1,145	4,574
合計	団 体 数	6	0	0	0	7	0	26	9	14	1	4	13	80
	実利用者	237	0	0	0	238	0	1,132	213	432	27	51	1,018	3,348
	延利用者	272	0	0	0	238	0	4,791	1,412	3,284	27	88	1,713	11,825

## 2 平成23年度 利用団体別・宿泊日数利用状況

(1) 利用者数 ( )はキャンプ等の内数

項目	団体数	実利用者	延利用者
利用者数	80	3,348	11,825
(キャンプ)	(0)	(0)	(0)
(ロッジ)	(0)	(0)	(0)

(2) 利用者受け入れ日数

項目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	135	99	125	93
(キャンプ)	(0)	(0)	(0)	(0)
(ロッジ)	(0)	(0)	(0)	(0)

(3) 利用者区分

泊数	種別 区分	学校教育団体						社会教育団体				ファミリー	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
1日	団体数	5	0	0	0	7	0	15	1	7	1	3	11	50
	実利用者	202	0	0	0	238	0	697	27	268	27	14	839	2,312
	延利用者	202	0	0	0	238	0	697	27	268	27	14	839	2,312
1泊2日	団体数	1	0	0	0	0	0	8	5	1	0	1	2	18
	実利用者	35	0	0	0	0	0	291	114	15	0	37	70	562
	延利用者	70	0	0	0	0	0	582	228	30	0	74	140	1,124
2泊3日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
3泊4日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4泊5日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5泊以上	団体数	0	0	0	0	0	0	3	3	5	0	0	1	12
	実利用者	0	0	0	0	0	0	144	71	133	0	0	125	473
	延利用者	0	0	0	0	0	0	3,512	1,154	2,970	0	0	750	8,386
合計	団体数	6	0	0	0	7	0	26	9	13	1	4	14	80
	実利用者	237	0	0	0	238	0	1,132	213	416	27	51	1,034	3,348
	延利用者	272	0	0	0	238	0	4,791	1,412	3,268	27	88	1,729	11,825

### 3 平成23年度研修活動の分類と実施団体数

		学 校 団 体						社会教育団体				ファミリー	主催	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	養護学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
環境 プロ	1 自然(海浜)散策・観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 ネイチャーゲーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3 ネイチャーラリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 ボンファイア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 ナイトハイキング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 グリーンオリエンテーリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 スターウォッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8 イニシアチブゲーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野 外 ・ 海 浜	1 磯遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 魚釣り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3 いかだ作り・乗り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 カヌー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 海水浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 ボディボード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 砂の芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8 ビーチバレー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野 外 ・ エ リ ア 内	1 冒険の森散策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 ハイキング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3 スコアオリエンテーリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 ポイントオリエンテーリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 ピンゴオリエンテーリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 動物オリエンテーリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 自然の家探検ラリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8 海岸ウォークラリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9 フィールドアスレチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10 野外炊飯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11 キャンプファイア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12 マウンテンバイク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13 ペタンク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14 トレッキング(二ツ箭山登山)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15 グランドゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16 ターゲットバードゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17 陣取りゲーム・旗取りゲーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18 野外ゲーム・ロープコース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19 フライングディスク(フリスビー)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20 トリムランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21 テント設営・撤収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

室内・創作	1	貝飾り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	貝壁飾り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	ストーンアート	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	4	紙飛行機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	キーホルダー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	6	七宝焼き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	7	しおり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	草木染め	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
	9	木製コースター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	10	飛ぶ輪っか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	11	貝の絵ろうそく	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	12	木彫るだー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	13	自主製作・その他の製作	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
室内・ゲーム	1	キャンドルファイア	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2	室内ゲーム	1	0	0	0	0	0	14	4	2	0	0	2	23
	3	室内オリンピック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	室内スポーツ(卓球・バドミントン)	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	6
	5	室内ビンゴオリエンテーリング	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4
	6	室内ペタンク	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	7	ストラックアウト	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	8	フリーフロー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	輪投げ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	10	インディアカ・キンボール・ドッチビー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11	伝承遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	12	海浜なんでもチャンピオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	1	サイクリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	移動体験学習・活動	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
	3	学習(研修・講義等)	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	9	12
	4	スポーツ(練習等)	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0	3	1	15
	5	合唱・合奏等練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	8	0	0	0	1	0	30	14	4	3	3	23	86

## 第4節 企画事業

### 1 利用促進事業

#### (1) 目的

震災によって、屋外活動が制限される中、室内活動を中心に様々な体験学習を実施することにより、人との交流や親子のふれあいを深め、自主性・創造性・社会性を育てるとともに、震災復興支援やボランティア活動の場とする。

#### (2) 内容

ア いわき海浜自然の家オープンイベント

(ア) 期日 平成23年11月27日(日)

(イ) 対象 小・中学生とその保護者、地域の方々

(ウ) 参加者数 350名

(エ) 活動内容 黒磯みつとり太鼓演奏、室内ビンゴオリエンテーション、海浜なんでもチャンピオン、キーホルダー、飛ぶ輪っか、草木染め、体験スタンプラリー、海浜ペタンク体験、ストラックアウト、海浜フォトギャラリー、

海浜レストラン、お風呂の開放

イ 親子のつどい（ファミリーウィンターランド）

（ア）期日 平成23年12月17日（土）～18日（日）

（イ）対象 県内の小・中学生とその保護者

（ウ）参加者数 34名

（エ）活動内容 エコバッグ作り、押し花カレンダー作りなどのクラフト制作、もちつき体験、ソバ打ち体験、ボランティア活動の場

ウ 伝承遊び

（ア）期日 平成24年1月15日（日）

（イ）対象 県内の親子

（ウ）参加者数 9名

（エ）活動内容 凧作り、竹トンボ作り、独楽、福笑い、けん玉体験

エ クラフトのつどい

（ア）期日 平成24年1月29日（日）

（イ）対象 県内の成人

（ウ）参加者数 21名

（エ）活動内容 手かご作り、貝飾り作り体験

オ 森の音楽会

（ア）期日 平成23年3月9日（金）

（イ）対象 県内の成人、家族

（ウ）参加者数 113名

（エ）活動内容 ディナーバイキング料理体験とサクソフオンアンサンブル公演

カ 復興祭

（ア）期日 平成23年3月24日（土）・25日（日）

（イ）対象 小・中学生とその保護者、地域の方々

（ウ）参加者数 270名

（エ）活動内容 宿泊体験、ストラックアウト、輪投げ、フリーブロー、縄跳び、スタンプラリーなどの体験、草木染め体験、下敷きカレンダー作り、海浜レストラン、お風呂の開放

## 2 その他の企画事業

### (1) 公民館連携講座

ア 目的

公民館と連携して所バスを活用した歴史探訪とレストランでの食事体験など、社会教育団体等の利用促進を図る。

イ 期日・対象・参加者数

（夏井公民館）

（ア）期日 平成24年1月16日（月）

（イ）対象 一般成人

（ウ）参加者数 16名

（エ）内容 餓鬼堂横穴や綱取貝塚といわき海浜自然の家の見学と食事体験

（大浦公民館）

（ア）期日 平成24年2月8日（水）

（イ）対象 一般成人

（ウ）参加者数 11名

（エ）内容 四倉地区の遺跡（古川遺跡や玉山古墳）の見学やいわき海浜自然の家見学と食事体験（草野公民館）

（ア）期日 平成24年2月13日（月）、3月12日（月）

（イ）対象 一般成人

（ウ）参加者数 55名

（エ）内容 小川江筋を探訪し江戸時代の歴史を学び、いわき海浜自然の家の見学と食事体験

### (2) いわき市生涯学習プラザ連携講座

ア 目的

いわき市生涯学習プラザと連携し、市民講師養成講座を開催し、社会教育団体等の利用促進を図る。

イ 期日・対象・参加者数

（ア）期日 平成24年1月31日（火）、2月28日（火）

（イ）対象 一般成人

（ウ）参加者数 10名

（エ）内容 エアロビクスと縄跳びや七宝焼きを体験し、市民講師としての役割や指導法を学ぶ

### (3) OECD東北スクール共催事業

ア 目的

文部科学省教育復興支援事業として開催されたOECD東北スクールを共催し、東北被災3県の中高生とともに復興支援にあたる。

イ 期日・対象・参加者数

（ア）期日 平成24年3月25日（日）～30日（金）

（イ）対象 被災3県の中高生

（ウ）参加者数 750名

（エ）内容 被災3県の中高生が東北を元気にする計画を話し合う

## 3 協力事業

### (1) 福島冬の！ ウィンターフェスティバル

（主催：会津自然の家）

ア 目的

福島冬の風情や伝統文化のすばらしさを発見させるとともに参加者相互の交流を図る。

イ 期日・対象・参加者数

（ア）期日 平成24年1月28日（土）～29日（日）

（イ）対象 小・中学生とその保護者

（ウ）参加者数 36名（当所からの参加者）

